

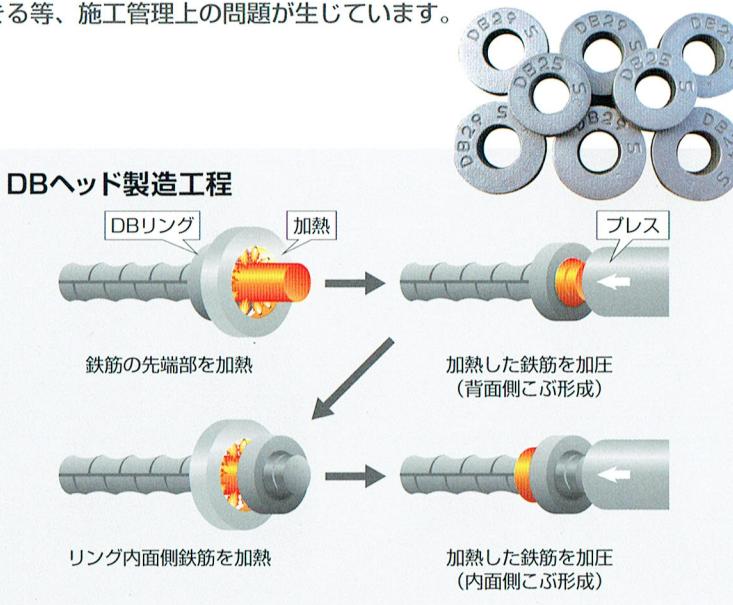
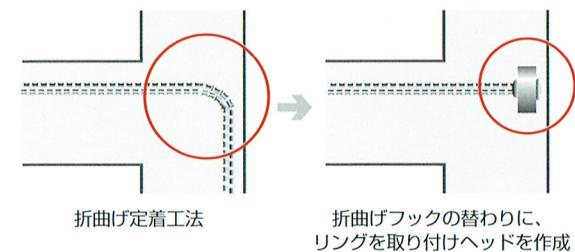
機械式定着金物 DBヘッド定着工法

SABTEC 評価 11-03R2

近年の鉄筋工事における高強度化や太径化に伴い、従来の折曲げ工法では、柱梁接合部での納まりが過密となるため、配筋精度の不足やコンクリートの充填が難しい状況が起きる等、施工管理上の問題が生じています。それらを解消するのが『DBヘッド定着工法』です。

『DBヘッド定着工法』とは

鉄筋の先端にダクタイル鋳鉄製のリングを挿入した後、リング両側の鉄筋を加熱・加圧し、二つのこぶを形成させて固定する工法です。DBヘッドの支圧面に生じる支圧力が、折曲げフックの替わりとなり、柱梁接合部の配筋が簡素化されることで、品質の向上と作業工程の短縮に繋がります。



従来工法とDBヘッド定着工法

DBヘッド定着工法

全国の現場で採用されている確かな実績があります。

SABTEC®
技術評価

柱梁接合部にスペースが出来、コンクリートのまわりが良くなります。

技術評価書

※建築構造技術支援機構(SABTEC機構)とは
確かな建築構造の実証と先進の安全ソリューションの技術を通じ、課題解決のために第三者の立場から、コンクリート系構造技術の工法開発や設計・施工の分野で、開発提案・実験計画・設計指針化など、実用性の高いトータルな技術支援サービスを行う機関です。



全メーカー・全鋼種

国内JIS

SD295A,B・SD345・SD390・SD490

全設計ルート・全サイズで使用可能

ルート1～ルート3

D16～D41

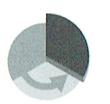
国・県・市町村の公共工事にも多く採用されており、延200万個の販売実績があります。

2014年7月、愛知県建設部公共工事仕様に、「機械式定着工法」が追記されました。



建築物の品質確保

柱梁接合部での過密配筋による定着不足の解消とコンクリートの充填効率の良さで、建物の品質が確保されます。



現場の工程短縮と災害防止に貢献

鉄筋が曲がっていないため、運搬・荷揚げ・施工の作業効率が向上するうえ、引っ掛け・つまき等の事故防止にも繋がります。



製品の信頼性

工具やグラウト等の補助材が不要であり、製品に接合面・溶接面が無い上、目視出来る製品形状が機能を示す「品質の見える化」そのものです。



提案型製品

建物の品質と製品の信頼性、工期短縮など、施工者への提案につながる優れた製品です。

物流革命



DBヘッドせん断補強鉄筋

NETIS登録番号 CB-090014-A

本製品は建築現場で得たノウハウを基に、ディビーエスが開発した、土木の現場で用いる製品です。



DBフックは現場での配筋作業を容易にします。

